



令和7年度 枚方トピックス 9 号

福祉体験(五感で学ぶ思いやり)



自立活動の授業で、介護福祉士の資格を持つ教員の指導のもと、子どもたちは**五感**の重要性を学び、白杖や点字ブロック、Bluetooth スピーカーなどの道具を用いて**視覚・聴覚・触覚**を補う疑似体験を行いました。目隠しをして白杖で歩く際の的確な誘導方法や、音を頼りに距離を測る聴覚ゲームを通じて、知識の習得に留まらず、**相手の立場に立った具体的な支援や安心感の与え方**を実践的に学ぶ機会となりました。子どもたちは体験を通して、日常生活に潜む**バリアフリー**の重要性と、周囲の協力の大切さを実感することができました。



- 箱の中身を手探りで触って当てるゲーム、音の方角を当てるゲームに挑戦しました。
- 手をつないで誘導する際は、手をつないで引くのではなく、両肩を近づけて並んで一緒に歩くだけで、安心感が違うことを知りました。
- 音のボッチャでは、目を閉じたまま、Bluetooth スピーカーの入った的を聴き分けて、全員その方角に投げることができました。中には方角や距離を考え、2回投げて、2回とも狙った的に当てることができた生徒もいました。

## 福祉体験学習：五感で学ぶ思いやり

他者を助ける方法を体験的に理解する。

